

# 届出

[平成22年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

大同大学工学部総合機械工学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大同学園  
平成22年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 学務室

職名・氏名 室長 アマイケ天池 コウイチ公一

電話番号 052-612-6111

（夜間） 052-612-6085

F A X 052-612-5623

e-mail ditgakum@daido-it.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 大同学園

## (2) 大学名

大同大学

## (3) 大学の位置

〒457-8530  
愛知県名古屋市南区滝春町10番地3

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(オクムラ ヒロシ) 奥村博司 (平成19年8月)		
学長	(サワオカ アキラ) 澤岡昭 (平成11年4月)		
学部長	(サワオカ アキラ) 澤岡昭 (平成15年4月)		
学科長等	(ヤマダ キイチ) 山田喜一 (平成22年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 総合機械工学科  学士(工学)	年 4	人 110	年次 人 -	人 440	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平均入学定員超過率	備 考
A 入学定員		( - ) 110	/	/	/	1.36 倍	
志願者数		( - ) 651	/	/	/		
受験者数		( - ) 643	/	/	/		
合格者数		( - ) 333	/	/	/		
B 入学者数		( - ) 150	/	/	/		
入学定員超過率 B/A		( - ) 1.36	/	/	/		

- (注) ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	備 考
1年次		[ - ] 150	/	/	/	
2年次		/	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次		/	/	[ ]	[ ]	
4年次		/	/	/	[ ]	
計		[ - ] 150	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する退学者数の割合 (a/b)
平成22年度	計 [ - ] 0	(累積)計 [ - ] 150	[ - ] % 0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 150人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ ] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		
平成24年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ ] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	(主な退学理由)		
平成25年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ ] %
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	%
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	平成24年度 人	
	うち平成25年度入学者 人	平成25年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

## 2 授業科目の概要

<工学部 総合機械工学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	ドイツ語入門Ⅰ	1前			1							
	ドイツ語入門Ⅱ	1後			1							
	現代物理学Ⅰ	2前			2							
	現代物理学Ⅱ	2後			2							
人間科学科目群	Aグループ ファーストイヤーセミナー	1前	1									
	基礎文法Ⅰ	1前	1									
	基礎文法Ⅱ	1後	1									
	基礎リーディングⅠ	1前	1									
	基礎リーディングⅡ	1後	1									
	多元英語Ⅰ	2前	1									
	多元英語Ⅱ	2後	1									
	実用英語Ⅰ	3前		1								
	実用英語Ⅱ	3後		1								
	健康科学演習Ⅰ	1前	1									
	健康科学演習Ⅱ	1後	1									
	Bグループ (人文社会分野)	国文学Ⅰ	2・3前		2							
		国文学Ⅱ	2・3後		2							
哲学Ⅰ		1・2・3前		2								
哲学Ⅱ		1・2・3後		2								
心理学Ⅰ		1・2・3前		2								
心理学Ⅱ		1・2・3後		2								
外国文学Ⅰ		1・2・3前		2								
外国文学Ⅱ		1・2・3後		2								
歴史学Ⅰ		1・2・3前		2								
歴史学Ⅱ		1・2・3後		2								
政治学Ⅰ		1・2・3前		2								
政治学Ⅱ		1・2・3後		2								
法学Ⅰ		2・3前		2								
法学Ⅱ		2・3後		2								
社会学Ⅰ		2・3前		2								
社会学Ⅱ		2・3後		2								
経済学Ⅰ		1・2・3前		2								
経済学Ⅱ		1・2・3後		2								
健康科学Ⅰ		1・2・3前		2								
健康科学Ⅱ		1・2・3後		2								
認知科学Ⅰ		2・3前		2								
認知科学Ⅱ		2・3後		2								
環境を科学するⅠ		1・2・3前		2								
環境を科学するⅡ		1・2・3後		2								
教育原理		1前		2								
教育社会学		1後		2								
教育心理学	2前		2									
教職総合演習	3後		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目群	自然科学系	線形代数Ⅰ	1前		2							
		線形代数Ⅱ	1後		2							
		基礎物理Ⅰ	1前		2							
		基礎物理Ⅱ	1後		2							
		化学Ⅰ	1前		2							
		化学Ⅱ	1後		2							
	工学基礎系	数学基礎	1前・後		2							
		微分積分Ⅰ	1前・後		2							
		微分積分Ⅱ	1後・2前		2							
		微分積分Ⅲ	2前		2							
		常微分方程式	2後		2							
		力学Ⅰ	1後・2前	2								
		力学Ⅱ	2前		2							
		力学Ⅲ	2後		2							
基礎工学実験	2後		1.5									
総合機械数学Ⅰ	1前	2			1							
総合機械数学Ⅱ	1後	2			1							
専門科目群	基幹科目	機械システム 세미나	1前		1		5	1				教員の昇格による変更 (22) 対象者 小森和武 (教授)
		ロボティクスセミナー	1前		1		5	0	1			教員の昇格による変更 (22) 対象者 尾形和哉 (教授)
		材料力学Ⅰ	2前	2			1	0				教員の昇格による変更 (22) 対象者 小森和武 (教授)
		材料力学Ⅱ	2後		2		1	0				教員の昇格による変更 (22) 対象者 小森和武 (教授)
		熱力学Ⅰ	2前		2		1					
		熱力学Ⅱ	2後		2		1					
		流体力学Ⅰ	2後		2		1					
		流体力学Ⅱ	3前		2			1				
		機械力学Ⅰ	2後	2			1					
		機械力学Ⅱ	3前		2		1					
		工業力学	1後		2		1					
		材料工学Ⅰ	1後		2		2					教育充実により専任教員を追加(22) 担当 平 博仁 (教授)
		材料工学Ⅱ	2前		2		1					
		高機能材料	3前		2		1					
		材料加工学概論	1前		2							
		創成加工学	3前		2							
		塑性加工学	3後		2		1	0				教員の昇格による変更 (22) 対象者 小森和武 (教授)
		材料強度学	4前		2		1					
		ロボティクス入門	1前		2		1	0		1		教員の昇格による変更 (22) 対象者 尾形和哉 (教授)
		ロボット機構学	2前		2		1					
		電気・電子工学	2前		2		1					
		電気・電子回路Ⅰ	1後		2		1					
		電気・電子回路	2後		2		1					
		デジタル回路	2後		2		1					
		プログラミングⅠ	1後				2	0				担当者の追加と教員の昇格による変更 (22) 対象者 小森和武・尾形和哉 (共に教授)
		プログラミングⅡ	2前		2		1					
数値プログラミング	2後		2		1							
計測工学	2後		2		1							
制御工学	3前		2		2	1				教員の昇格による変更 (22) 対象者 尾形和哉 (教授)		
機械製図	1前		1.5							授業内容の見直しにより、演習科目から実験・実習科目に変更 (22)		
設計製図	2前		1.5									
創造設計製図	3後		1.5		1							
機械設計学Ⅰ	2前		2									
機械設計学Ⅱ	2後		2									
CAD・PC入門	1前		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目群	CAD演習	2前		2			1					
	CAD演習I A	2後		2								
	CAD演習I B	2後		2								
	応用CAD I	2後		2			1					
	応用CAD II	3前		2			1					
	ロボット創造実習	1後		1.5		1						
	創造製作実習 I	1後		1.5								
	創造製作実習 II	2前		1.5								
	機械加工実習	2前		1.5								
	メカトロニクス実習	2後		1.5								
ロボット工学実験 I	3前・後		1.5			5 4	0 ±		1		教員の昇格による変更 (22) 対象者 尾形和哉 (教授)	
ロボット工学実験 II	3前・後		1.5			5 4	0 ±		1		教員の昇格による変更 (22) 対象者 尾形和哉 (教授)	
機械工学実験 I	3前・後		1.5			5 4	1 ±				教員の昇格による変更 (22) 対象者 小森和武 (教授)	
機械工学実験 II	3前・後		1.5			5 4	1 ±				教員の昇格による変更 (22) 対象者 小森和武 (教授)	
展開科目	電気・電子回路II	2前		2			1					
	システムシミュレーション工学	2後		2			1 0					教員の昇格による変更 (22) 対象者 小森和武 (教授)
	運動シミュレーション	3前		2			1					
	生産プロセスシミュレーション	3後		2			1 0					教員の昇格による変更 (22) 対象者 小森和武 (教授)
	生体工学	3前		2		1						
	自動車工学	3前		2		1						
	流体機械	3前		2		1						
	福祉機械工学	3後		2		1						
	医用機械工学	3後		2		1						
	エネルギー変換工学	3前		2				1				
	センサ・アクチュエータ工学	3前		2					1			
	メカトロニクス工学	3前		2		1						
	システム制御工学	3後		2		1	1					
	自動車制御システム工学	3後		2		1						
	システムマネジメント	4前		2		1						
	航空宇宙工学	4前		2		1						
	コンピュータシステム工学	3後		2					1			
オートメーション工学	3前		2									
ロボットプログラミングI	3前		2					1				
ロボットプログラミングII	3後		2		1							
CAD演習II	3前		4									
ロボット創造CAD演習	3後		4									
ロボット運動制御	3後		2					1				
ロボットビジョン	3後		2		1							
マン・マシンインタフェース工学	3後		2									
人工知能	4前		2		1							
関連科目	工業経営概論	4前		2								
	品質管理工学	4前		2								
	科学技術史論と技術者倫理	4後		2								
	知的財産権と情報倫理	4後		2								
	実務研修(インターンシップ)	3後		2		1						
卒業研究	総合セミナーI	3後	2			10 8	1 ±		1		教員の昇格による変更 (22) 対象者 小森和武・尾形和哉 (共に教授)	
	総合セミナーII	4前	2			10 8	1 ±		1		教員の昇格による変更 (22) 対象者 小森和武・尾形和哉 (共に教授)	
	卒業研究	4通	6			10 8	1 ±		1		教員の昇格による変更 (22) 対象者 小森和武・尾形和哉 (共に教授)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目群	自由科目										
	幾何学Ⅰ	3前			2						
	幾何学Ⅱ	3後			2						
	数理統計学Ⅰ	3前			2						
	数理統計学Ⅱ	3後			2						
	応用解析Ⅰ	2前			2						
	応用解析Ⅱ	2後			2						
	応用解析Ⅲ	4前			2						
	応用解析Ⅳ	4後			2						
	線形代数Ⅲ	4前			2						
	代数系入門	4後			2						
職業指導Ⅰ	4前			2							
職業指導Ⅱ	4後			2							



(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 17	科目 122	科目 16	科目 155	科目 17 [ 0 ]	科目 122 [ 0 ]	科目 16 [ 0 ]	科目 155 [ 0 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

<該当なし>

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

<該当なし>

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<該当なし>

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

<該当なし>

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0.00}}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大同大学大同高等学校 と共用 収容定員1,440人 基準面積:7,200㎡			
	校舎敷地	51,479.70㎡	— ㎡	— ㎡	51,479.70㎡				
	運動場用地	51,047.97㎡	16,061.85㎡	6,628.53㎡	73,738.35㎡				
	小 計	10,2527.67㎡	16,061.85㎡	6,628.53㎡	125,218.05㎡				
	そ の 他	— ㎡	— ㎡	— ㎡	— ㎡				
	合 計	10,2527.67㎡	16,061.85㎡	6,628.53㎡	125,218.05㎡				
(2) 校 舎	専 用	56,798.49㎡	— ㎡	— ㎡	56,798.49㎡				
	( 56,798.49 ㎡)	( — ㎡)	( — ㎡)	( 56,798.49 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	少人数教育を行い、 指導効果を高めるため (22)			
	46室	7室	37 <del>30</del> 室	14室 (補助職員一人)	— 室 (補助職員一人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	工学部総合機械工学科			12 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での 共用分 図書〔うち外国書〕 216,039[54,139] 212,236[56,274] (22)	
	工学部 総合機械工学科	10,281 [1,740] (9,469 [1,584]) (9,347 [1,582])	194 [ 84 ] (194 [ 84 ])	0 [ 0 ] (0 [ 0 ])	0 ( 0 )	297 ( 297 )	0 ( 0 )		
	計	10,281 [1,740] (9,469 [1,584]) (9,347 [1,582])	194 [ 84 ] (194 [ 84 ])	0 [ 0 ] (0 [ 0 ])	0 ( 0 )	297 ( 297 )	0 ( 0 )		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	3,589.94㎡		392席		245,550冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	3,387.77㎡		—						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究契約件数 の増、予算規模の 見直し等 (22)
		教員1人当り研究費等	463 475千円	475千円	図書購入費	2,088千円	1,564 2,088千円	2,088千円	
	共同研究費等	6,150 5,688千円	5,688千円	設備購入費	5,040千円	5,412 5,040千円	5,040千円	届出学科全体	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には電子ジャー ナル・データベースの 整備費(運用コスト含 む)を含む。	
		1,500千円	1,230千円	1,260千円	1,290千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金 等							

(注)・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

- ・「(3)教室等」「(5)図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	大同大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<b>工学部</b>									
機械工学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.26	昭和39年度	名古屋市南区滝春町10番地3	
ロボティクス学科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成22年度より学生募集停止
情報機械システム工学科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成18年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.08	昭和39年度	名古屋市南区滝春町10番地3	
建築学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.17	昭和50年度	名古屋市南区白水町40番地	
都市環境デザイン学科	4	75	—	300	学士(工学)	0.59	平成13年度	名古屋市南区白水町40番地	
<b>情報学部</b>									
情報システム学科	4	120	—	480	学士(情報)	1.23	平成20年度	名古屋市南区滝春町10番地3	
情報デザイン学科	4	140	—	560	学士(情報)	1.21	平成20年度	名古屋市南区滝春町10番地3	
情報学科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成20年度より学生募集停止

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

<該当なし>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### (1) 設置計画変更事項等

<該当なし>

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

2001/4/1

※関係規程等を転載又は添付すること

「大同大学授業開発センター運営委員会規程」を添付する。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

定例3回（2、8、11月）、メール委員会（随時）

委員：授業開発センター長、授業開発センター副センター長（2名）、センター所員（9名）、教務室長

##### c 委員会の審議事項等

- (1) 授業改善のための授業研究活動等に関すること
- (2) 研究授業、授業研究会の実施とその運用に関すること
- (3) 「学生による授業評価アンケート」の実施とその活用に関すること
- (4) 「学生による学習到達度評価アンケート」の実施とその活用に関すること
- (5) 授業開発助成、授業開発成果推進助成の実施とその運用に関すること

#### ② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

##### a 実施内容

- (1) 教員相互の授業参観及び授業内容・方法に関する研究会
- (2) 授業評価アンケート
- (3) 学習到達度評価アンケート
- (4) 授業開発助成、授業開発成果推進助成
- (5) 学内FDシンポジウム

b 実施方法

- ・ 教員相互の授業参観及び授業内容・方法に関する研究会  
前期7回、後期7回、合計14回程度の開催を予定する。
- ・ 授業評価アンケート  
全授業科目を対象に授業評価アンケートを毎期実施している。
- ・ 学習到達度評価アンケート  
全授業科目を対象に学習到達度評価アンケートを毎期実施している。
- ・ 授業開発助成、授業開発成果推進助成  
授業に共通する課題に取り組む教員の授業開発計画を経費面から支援する助成制度。
- ・ 学内FDシンポジウム  
授業に共通する課題を設定し、発表者の問題提起を基に議論する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 教員相互の授業参観及び授業内容・方法に関する研究会  
2001年の授業開発センター発足以来、10年に亘り継続して実施している。毎回の参加者は10名程度。
- ・ 授業評価アンケート  
2001年の授業開発センター発足以来、10年に亘り継続して実施している。
- ・ 学習到達度評価アンケート  
2001年の授業開発センター発足以来、10年に亘り継続して実施している。
- ・ 授業開発助成、授業開発成果推進助成  
2003年度授業開発助成、2005年度授業開発成果推進助成を開始
- ・ 学内FDシンポジウム  
2010年3月に第2回シンポジウムを開催。参加者30名程度。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 教員相互の授業参観及び授業内容・方法に関する研究会  
授業参観及び研究会、そのものが教員相互の教育力向上の研修として機能している。
- ・ 授業評価アンケート  
アンケート結果を教員個人、学科・教室、授業開発センターの3者で個別に分析を行い、情報を共有し授業改善に取り組んでいる。
- ・ 学習到達度評価アンケート  
アンケート結果を教員個人、学科・教室、授業開発センターの3者で個別に分析を行い、情報を共有し授業改善に取り組んでいる。
- ・ 授業開発助成、授業開発成果推進助成  
授業開発助成、授業開発成果推進助成で実施した取り組みについて、報告書を学内Web上に公開するとともに、報告会で発表し成果の共有を図っている。
- ・ 学内FDシンポジウム  
シンポジウムで議論された内容は、教員が共通の課題と認識している事柄であり、多くの示唆にとむものであった。今後も継続して開催する予定である。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成20年4月18日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

平成19年度に財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、平成20年3月19日付で、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。  
なお、次回の実施スケジュールについては計画中である。

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。



(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
- b 公表予定時期 ( 平成22年 6月30日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(http://www. )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。